

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

| | |
|-------------------|---|
| 審議会等の名称 | 令和元年度北はりま定住自立圏共生ビジョン会議 |
| 開催日時 | 令和元年10月10日（木） 午後1時30分～午後3時20分 |
| 開催場所 | 西脇市生涯学習まちづくりセンター 3階ホール |
| 出席委員の 氏名又は人数 | 16名 |
| 欠席委員の 氏名又は人数 | 1名 |
| 出席職員の職・ 氏名又は人数 | オブザーバー6名、事務局4名、各事業担当者 |
| 公開・非公開 の別 | 公開 |
| 非公開の理由 | |
| 傍聴人の数 | 2名 |
| 議題又は 協議事項 | 1 成果指標に基づく進捗状況の確認について 2 年次計画について |
| 会議の記録（概要） | |
| 発言者 | <p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） 本会議に出席いただき感謝申し上げます。 西脇市と多可町は地理的にも歴史的にも強いつながりがある。最近では西脇商工会議所と多可町商工会が連携し、新たな取組を行っているとの聞き、嬉しく思っている。本日は両市町の様々な取組について、委員各位に忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>（新委員の紹介） 名簿に基づき、新委員4名の自己紹介</p> <p>（以後の進行を浅野会長に依頼）</p> |
| 事務局 | |
| 西脇市長 | |

| | |
|-------------|---|
| <p>会 長</p> | <p>(定住自立圏構想の概要について) 会議資料に基づき、事務局から説明</p> <p>兵庫県内で他に定住自立圏の取組を進めている地域はあるのか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>豊岡市を中心市とする但馬定住自立圏、洲本市を中心市とする淡路島定住自立圏、加西市を中心市とする北播磨広域定住自立圏などがある。また、県をまたいで、岡山県備前市、赤穂市、上郡町で形成するものもある。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>(協議事項1 成果指標に基づく進捗状況の確認について) 会議資料(別紙1)に基づき、事務局から説明</p> <p>地域に医師を確保する際にポイントとなるものは何か。</p> |
| <p>西脇市長</p> | <p>西脇病院では、近隣の病院との連携のほか、神戸大学附属病院に協力いただくなどしている。また、かつて西脇病院に小児科医がいなくなってしまう危機を迎えたとき、地域の母親たちが「西脇小児医療を守る会」を立ち上げ、署名を集めるなどの様々な活動をされた。その結果、西脇病院に勤める医師からも「市民が支えてくれる病院」という評価をされるようになった。</p> <p>また、播磨看護専門学校について、小野市が廃止して民間の専門学校へ移管することを提案している。同校はこれまで多くの看護師を輩出し、そのほとんどがこの地域に定着していることから、これからもこの地域に必要なだと考えている。今後近隣市町と協議し、検討していきたい。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>鳥獣被害防止対策について、民間の食肉加工処理施設への搬入状況はどうなっているか。</p> |
| <p>担当者</p> | <p>平成30年度の搬入頭数(有害捕獲)は258頭である。また、民間業者に直接搬入(狩猟期捕獲)されたものが133頭で、合計で391頭となっている。</p> <p>(協議事項2 年次計画について) 会議資料(別紙2)に基づき、事務局から説明</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | 食肉加工処理施設は現在休止しているとのことだが、今後再開の予定はあるのか。 |
| 担当者 | 民間の処理施設が今後さらに稼働するようであれば、閉鎖も考えている。 |
| 委員 | 西脇多可新人高校駅伝については、市で事務局を担っていただき、ありがたく思っている。大会の運営費をどう確保するかが課題であり、多くの協賛金を集めなければならない。ぜひ御協力をお願いしたい。 |
| 担当者 | 今年度は日野北バイパスの開通に合わせて、新コースでの開催を予定している。また、兵庫県の交付金を活用し、テレビ放送も予定している。協賛金を集めるためにも、広く大会をPRしていきたいと考えている。 |
| 委員 | 「地域医療を守る住民活動の支援」について、子育てグループ等への呼びかけはどのように実施されているのか。また、呼びかけの結果、活動団体はできたのか。 |
| 担当者 | チラシ等を配布し、呼びかけを行っている。活動団体はできていないが、多可赤十字病院で活動されている病院ボランティアがある。 |
| 委員 | そのボランティア活動に子育て中の母親は参加されているのか。 |
| 担当者 | 今のところ参加はない。 |
| 委員 | 「介護認定審査会事業」について、介護申請から認定結果通知までの期間短縮が課題に挙がっている。期間短縮のためにはどのような課題があり、どうすれば解決できるのだろうか。 |
| 担当者 | 主治医による意見書の受領や訪問調査の実施などに時間がかかっている。認定を急ぐ必要がある案件については、早期に認定できるよう対応している。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 先日、医大生の方々と交流する機会があったが、西脇病院が研修先として人気であると聞いた。遠方であっても、西脇病院で研修を希望する医大生が多いと聞き、嬉しく思っている。 |
| 委員 | 西脇市社会福祉協議会においても、ボランティアの確保が難しい。メンバーの高齢化も進んでいる。 |
| 委員 | 西脇病院へ通院する高齢者のための送迎バスがあればありがたいのだが、実施する予定はないのか。 |
| 担当者 | 今のところ実施していない。 |
| 委員 | 両市町では人口減少が進んでいるが、その原因のひとつは働く場所がないことである。起業支援など、新しく働く場つくっていくことが大事だと考えるが、何か取り組んでいることはあるのか。 |
| 担当者 | 西脇市では起業・創業に対する補助制度を設けている。第二創業も対象としており、既存の企業の新たなチャレンジについても支援している。今年度は3名に補助を決定した。また、兵庫県も起業・創業に対する補助制度を設けている。 市では他にもファッション都市構想を推進しており、若手のデザイナー等呼び込み、市内事業所で3年間研修を行った後、起業を目指していただく制度を設けている。市内で播州織の新たなブランドを立ち上げ、店舗をオープンしている例もあるが、そのような起業が増えれば雇用が生まれ、交流人口の増加にもつながると考えている。 |
| 委員 | J R 鍛冶屋線廃線30年イベントについて、多可町のベルディホールでも鍛冶屋線を題材にした演劇を上演する予定なので、ぜひお越しいただきたい。地域全体で新しい道路の開通を盛り上げていきたいと考えている。 |
| 委員 | 市内で外国人が増えている。外国人の受入れについて、市で何か対応していることはあるのか。 |
| 事務局 | 市全体で特に取り組んでいることはないが、今後外国人 |

| | |
|-----|--|
| | <p>が増えていく中で、地域コミュニティとの関わりなどが課題となると考えている。今後対応を検討していく。</p> |
| 委員 | <p>地元にも優れた企業がたくさんあるが、求人をして人も人が集まらない状況である。そこで今年度、多可高校で地元企業25社を展示して紹介し、全校生に見てもらった。高校生の地元志向も高まっているので、今後も地元企業を選んでもらえるような活動をしていきたい。</p> |
| 委員 | <p>旬菜館の売上については、年間目標を上回るペースで順調に伸びているが、地域の農業の活性化のためには、認定農業者を増やす取組が必要であると思う。認定農業者数の推移はどのような状況か。</p> |
| 担当者 | <p>市の認定農業者数については、ここ数年は30名前後で推移しており、黒田庄和牛やイチゴ、山田錦などの生産に従事されている。認定新規就農者がここ数年で7名程度出てきており、その中から認定農業者になる方が出てきてほしいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>自分が作った農産物を直売所に出すことは、高齢者にとって生きがいになる。両市町でもたくさんの方が出荷されている。今後も継続して取り組んでいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>両市町を結ぶ路線バスは、両市町から補助金をいただいて路線を維持しているが、利用者は減少傾向にある。いかに利用者を増やすかを検討し、少なくとも現状維持を目指したいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>多可町観光協会では、交流人口の拡大を目指し、体験型の観光事業を増やしていきたいと考えている。地元農家に協力いただき、収穫体験などを行っており、好評である。今後もこのような取組を続けたい。</p> |
| 委員 | <p>北はりま田園空間博物館でも、ボランティアガイドが高齢化しており、ガイドへの応募も年間1、2名しかない状況である。人員を確保する方法について提案があればお願いしたい。</p> |

| | |
|-----|--|
| 担当者 | <p>自由な時間があり、そのような仕事が好きな方でなければ、応募しにくい状況であると思う。引き続き、様々な手段で募集をしていくしかない。</p> |
| 委員 | <p>住民の長年の努力により、ようやく鍛冶屋線跡地道路が開通する。開通に合わせて様々なイベントが行われる予定なので、ぜひ御協力をお願いしたい。</p> <p>また、アピカから南側と、国道 175号へつながる東西線がまだ完成していない。早期の完成をお願いしたい。</p> <p>25年後には人口減少、少子高齢化がより深刻になっている。今後は高齢者を人材として活用する方法を考えていかないといけない。</p> |
| 事務局 | <p>生涯学習などの観点からも、高齢者に活躍いただく場を提供することは今後の重要な課題であると考えている。</p> |
| 委員 | <p>移住・定住促進に係る K P I について、かなり成果が出ているようだが、どのような取組を行っているのか。</p> |
| 事務局 | <p>西脇市では平成27年度以降、地方創生の取組を進める中で移住・定住促進に係る制度を立ち上げてきた。その一例として、空き家バンク制度や空き家の改修費に対する補助制度などがある。また、デザイナーの育成支援制度やイチゴ農家の研修制度など、仕事と移住を結びつけた事業を実施してきた。それらの事業の結果が、K P I に反映されていると考えている。</p> |
| 担当者 | <p>多可町では平成28年に定住推進課を立ち上げた。町外からの移住者が定住コンシェルジュに就任し、移住希望者がスムーズに集落に入っていくための支援を行っている。多可町も空き家バンク制度を設けているが、登録が少なく、移住希望者になかなか物件を紹介できずにいる。今年度は各集落をまわり、空き家バンク制度の周知を行っている。</p> |
| 委員 | <p>結婚をしていない人が男女とも増えているように思う。婚活事業による成婚率はどのくらいなのか。</p> |
| 担当者 | <p>多可町では婚活ネットワーク協会に委託していたが、事業を見直すため一旦解散した。若者に事業をサポートして</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>もらいたいという思いでメンバーを公募したところ、7名の応募があった。そのメンバーを中心に、どうすれば多くの人に参加してもらえるか検討いただいている。来月にイベント開催を予定している。</p> |
| 事務局 | <p>西脇市では、婚活パーティを年2回開催している。市民グループに委託し、実施いただいている。カップルの成立は4割程度と高いが、その後が続かず、なかなか成婚に至らないのが現状である。</p> |
| 委員 | <p>社会福祉協議会においても、ボランティアの確保に苦勞している。各ボランティア団体の協力を得て、11月に「いきいきふれ愛まつり」を実施する。このようなイベントを通じて、周知を行っていききたい。</p> <p>また、今年2月に、社会福祉法人の連絡協議会を立ち上げた。特別養護老人ホームやこども園などが加盟し、活動している。こども園の子どもたちと高齢者がふれあう機会をつくるなどし、このような団体があることを知ってもらう機会にしたいと考えている。</p> |
| 会長 | <p>委員のみなさんの意見を聞いて感じることは、全てを行政任せにせず、地域や各団体が一緒になって取り組んでいかなければならないということである。また、人口減少や少子高齢化が進む中で、守りの態勢になりがちであるが、ないものねだりをせず、あるものを生かす取組を進めていくことが大切である。</p> |
| 事務局 | <p>(事務連絡)</p> <p>たくさんの方の貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。今年度の会議は本日の1回のみでの予定であり、今回の会議の御出席をもって、委員の任期は終了となる。</p> <p>来年度は、第2次共生ビジョンの最終年度であり、5か年の取組の総括を行うほか、令和3年度以降の5年間に向けて共生ビジョンの改定を予定している。今後も御支援、御協力をお願いします。</p> |
| 多可町長 | <p>(閉会あいさつ)</p> <p>貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。日野北バイパスの開通は、両市町にとって大変喜ばしいことであり、定</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>住自立圏の取組の成果だと考えている。開通に合わせて、多くのイベントが開催されるので、ぜひ参加をお願いしたい。</p> <p>ボランティアの人材確保に関する御意見があったが、今後は元気な高齢者の力を借りていかなければならないと考えている。元気なまま年を重ねていただき、様々な活動が続けて言っていた中で、高齢者が敬われるまちを目指している。</p> <p>今年度で委員の任期は一区切りとなるが、引き続き御支援、御協力をお願いしたい。</p> <p>(閉会)</p> |
| 問合せ先 | <p>西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p> |